

令和7年度 保護者向け 事業所評価（放課後等デイサービス）集計結果

事業所名 チャイルドステーションつうゆう

公表日 令和8年 2月 16日

利用児童数 23人 (令和8年2月10日現在)

21世帯配布 回収数 19部

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	0	0	2	・今まで利用したことはないが、見学時は十分広いと感じた ・とても広くていいと思う ・運動する部屋もあったり、勉強だけでなく体を動かせる点がいい	現在のスペースで今のような活用をしていき、より有効な活用方法があるようであれば改善を試みる。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	2	0	4	一人になることがないので安心する。	これまで事故なく運営できたが、今後の利用者増に向けて職員も増やしていく予定である。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	3	0	2	・段差が多いので、少し危ないと感じることがある。 ・おもちゃ等がわかりやすく整頓されていたので、子どもにはわかりやすいと感じた。	段差については職員が十分に見守るようにする。構造化されていると思っているが、子ども一人ひとりにとってより有効な構造化があるようであれば改善を試みる。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1	0	2	・特性に合わせるため、保護者と相談をしながら子どもに寄り添おうとしている ・以前見学に来た際に、遊戯室が整理整頓された空間だと感じた。	清潔で心地よく過ごせる環境になっていると思う。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっていると思う。今後も心掛けていく。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	2	0	0	・リハビリを受けている ・子どもに必要な支援を分析してくれていると、連絡帳をみて思う。	普段から保護者との情報交換、職員間の話し合い、言語や発達等の検査を実施し、子どもも理解・専門性のある支援を心掛ける。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	3	0	0	適切であると感じる。	今後も合致するように努力する。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	2	0	0	プログラムはないがニーズに沿っている	今後もより有効で現実的な計画を作成するように努力する。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	2	0	0	子どもが楽しめるように、パズルやゲームで勉強できる工夫がされている。	今後もより有効で現実的な計画を作成するように努力する。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1	0	0	連絡帳には子どもの必要な支援に合わせ都度様々な支援をしてきていると思う。	今後も合致するように努力する。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	3	0	3	連絡帳には子どもの必要な支援に合わせ都度様々な支援をしてきていると思う。	子ども・家庭・職員の状態は日々変化するのであり、それらを総合的に考え判断して活動プログラムを決めていく。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3	1	12	・今まで利用がないので分らない ・個別の対応をしている ・他の子どもと一緒に遊んだと聞いた。	昨年7月開所したばかりで、正直なところこの項目についての活動はまだ行っていない。今後どのように行ったらいいのかを検討していく。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0	質問にしっかりと答えていただき、不安なく利用することができた。	今後も説明に努める。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	2	0	0	子どもに合った支援の説明を考えていただき、丁寧に説明してくれました。	児童発達支援管理責任者が児童発達支援計画を説明し、専門的支援については言語聴覚士が説明するが、両者が連携するように努める。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	0	11	・今まで利用がないので分らない ・勉強の教え方について相談したところ詳しくアドバイスをしてくれた。 ・ペアトレは療育センターのふきのとうで充分研修したので大丈夫です。	必要性を感じるが、それぞれの子ども・保護者の意思があるはずで、どのように実施したら保護者に納得していただけるかを検討して実施に向けて努力する。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	1	0	0	・週1回、1週間分をまとめて様子を報告確認してもらっている。 ・子どもが何をしたかだけでなく、どんな様子で活動しているかを連絡帳に記入してくれるのが非常に嬉しい	これからも共通理解に努める。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1	0	0	・いつも気持ちに寄り添い、息子の気持ちに合う支援をもらっている。 ・入所したてなので面談はまだないが電話で確認があった。	「定期的」ということではモニタリング時に行っているのみだろうが、保護者からの相談にはその都度でいかに対応してきたつもりであり、今後もそうしていく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	0	・子どもの発達に合わせて話し方だったり説明をしてくれていたと感じた	共感的に支援してきたが、それぞれの子ども・家族の来歴と特徴があり、それらの理解に努めて、子ども・家族がさらに納得できるようにしていく。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	0	3	3	12	・子どもが交流の難しい面があったり母子分離ができていないため、そのような機会があっても参加できない ・まだ入所したてなのでわからない	昨年7月開所したばかりで、正直なところこの項目についての活動はまだ行っていない。事業所が主導する面があるが、利用者さんの要望・意向を勘案していく。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1	0	0	困った時には場や機会を提供してもらっている。送迎等の申入れを迅速に対応してもらった。	周知・説明し、相談の申し入れがあれば迅速かつ適切な対応に努める。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1	0	0	・毎週足を運んでもらい、感謝している。 ・毎回連絡帳がぐわしくびっしり書いてあり、子どもがどのような様子か何をしていたかよくわかる。	今後も子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされるように努力していく。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	3	0	2	配布物は必ず届けてもらっている。 お便りがくるのでとても良い。	通信の発行を続けていく。現在は経営母体のNPO法人のホームページで情報発信しているが、間もなくこの事業所のホームページを開設する予定である。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	2	0	0	ホームページ等載せてもいいか、確認がしっかりとあった。	今後も十分に留意していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1	0	7	利用したことがないので、訓練についてはわからない説明があった 玄関の施設が甘いと感じる、不審者、クマ等が心配。	マニュアルについては利用規約の説明を行う際に説明をしていく。訓練については今後実施予定である。また、毎年マニュアルの見直しを行い、訓練の実際の活用に努めていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	3	0	9		今後実施予定である。季節、平日、週末、長期休業期間など、様々な機会に子どもが落ち着いて、安全に避難できるように計画的に訓練を実施していく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	2	0	4		子どもの安全を確保するための計画について周知するよう取り組む。日々の支援活動では、安全の確保が十分に行われていると思っており、引き続き気をつけていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	1	2		大きなけがになる事故は発生していない。活動中に思い余って擦り傷をつけたりぶつけたりすることがあるが、その都度保護者に伝えているし、今後もそうする。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16	2	0	0	・いつも受け入れていただき大変感謝しています。 ・子どもの気分によるが最近是不安感を持ちながらという日が多い。	今後も利用者の誰もが、安心して通所できる場所づくりに努めていく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	2	0	1		今後も利用者にとって、楽しいと思える場所づくりに努めていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1	0	0	・嫌がることなく通所している。毎回楽しかったと言っている。他の場所では児童に対して支援員の方の数が少なく同じクラスの友だちもいないため一人でぼーっとしていることも多いらしいが毎回たくさん支援を楽しく支援してくれるように感じる。いつも本当によくしてもらい、ありがとうございます。 ・子どもが何かしてしまったなどの連絡について、お迎え時に一声いただけると助かります。また、早めの提出物がある際もお声、またはLINEでの連絡があると非常に助かります。	満足していただき大変ありがたく思います。「どちらでもない」という評価もあり、子ども・ご家族に満足していただけるように今後も努力していきます。